

まちスポ飛騨高山 助成金の交付決定

まちスポ飛騨高山

「ここでつながる、ここからはじまる。」という当法人のテーマのもと、社会的課題の解決に取り組んでいる団体、グループ、サークルと地域住民の皆様がつながり、新しい活動をはじめめる後押しをするために寄せられた寄付金を原資に、地域住民の皆様の活動を応援するため、2014年度に設置されたまちスポ飛騨高山助成金の制度です。

2021年度は現在4団体がエントリーし助成金の交付が決定しました。

 <p>飛騨ゼロウェイストプロジェクト 活動名 マルシェからはじめるごみ削減への大きな1歩</p> <p>交付額 5万円</p>	 <p>NPO法人はみんぐアニマル 活動名 企業と取り組む地域社会福祉 ～SDGsで動物愛護の活動支援～</p> <p>交付額 5万円</p>
 <p>MAP'04実行委員会 活動名 MAP'04の認知向上に向けたチラシ制作事業</p> <p>交付額 4万円</p>	 <p>ファミリープラネットジャパン 活動名 在住外国人向け生活ガイドブック 作成・配布と多文化共生サポーターの募集</p> <p>交付額 5万円</p>

今後も、交付団体の活動取り組みによって地域に広がる笑顔の輪を追っかけレポートしていきますので楽しみにしてください。

詳細はこちら
まちスポホームページから
<http://machispo.org/2021zyoseikinnsinnakai/>



第3回 スキマ研究会

まちスポ飛騨高山



今回のスキマ案内人は飛騨ゼロウェイストプロジェクトの佐野愛弓さん、田原なおみさん、河野美紗さん。モデレーターは前回同様に事業パートナーの古里圭史さんが務め、スキマ案内人の取り組み「ゼロウェイストとは？」をテーマに、3人のメンバーが活動に関心を持った経緯や、日々の活動を紹介していただきました。「ウェイスト=無駄・ゴミ」ゴミをどう処理するかではなくゴミを出さないようにすることが大切だと活動されている飛騨ゼロウェイストプロジェクトの皆さん、「1人の100歩より100人の1歩。」という合言

葉のもと活動を広げています。

2021年度飛騨高山助成金を使い取り組んだ「第1回飛騨ゼロウェイストマルシェ」についての成果報告では、今度の活動への意気込みも併せてご報告いただきました。「笑顔で楽しみながら活動を続けていきたい。」と満面の笑みで伝えてくださった飛騨ゼロウェイストプロジェクトの皆さん。これからの活動にも注目です。



総務省のデータ入力の統一ルールがすぐ為になる。
中川



乾燥で、ハンドクリームが手放せない。。。
野首



昨年の経験で、雪かきがラクになった気がします。
板屋

1月のホームページ更新

<http://machispo.org>



- 飛騨コミュニティ財団(仮称)設立事業
<http://machispo.org/hidakomyu/>
- 2022年2月まちスポ飛騨高山 イベント情報
<http://machispo.org/202202event/>
- 第3回ひだのスキマ研究会
<http://machispo.org/sukima3/>

さるぼぼコイン クレジットでの 賛助会員入会が 可能になりました!

詳しくはこちらをご覧ください!
<http://machispo.org/donation>

活動を応援して下さる方を募集しています。

- ♡ 個人年会費 1口 ¥3,000
- ♡ 法人年会費 1口 ¥5,000

納入先

郵便振替 00840-9-183216 特定非営利活動法人まちづくりスポット
飛騨信用組合 松泰寺支店(普)0793442 特定非営利活動法人まちづくりスポット
高山信用金庫 駅西支店(普)0166788 特定非営利活動法人まちづくりスポット

2022年2月15日発行(通巻96号)

発行:認定NPO法人 まちづくりスポット 発行者:竹内 ゆみ子 編集:五十嵐 浩子
〒506-0025 岐阜県高山市天満町1-5-8フレスポ飛騨高山内 TEL 0577-62-8550

FAX 0577-62-8580 E-mail info@machispo.org

事務局休館日:毎週火曜(火曜祝日の場合は水曜日)年末年始

毎月の事業報告!

2022.02.15 February

会報

まちスポ Machispo Vol. 96

新年の抱負は決まったかい?

Since 2012.3.4



10年目を迎えて

まちスポ飛騨高山

思い至ったのは2011年の夏頃でした。その後、2012年11月1日に全国136番目のショッピングセンター【フレスポ飛騨高山】オープンと同時にまちスポをオープンしました。当初の思いは大和リースのビジネスとして、『何とか、新しく作る商業施設を活性化したい、地域の人達にもっともっと愛着の持てる施設にできないか』と言う思いで色々な事業を模索しておりました。そこで出会ったのがNGOを運営されている竹内さんでした。協議を重ね、色々教えて頂きました。その中でも『コミュニティは誰かが育てなければ駄目になるよ』の一言で私はまちスポを設立しようと思いに至りました。

スタートする頃、私は『NPOとは何か』から始めなければなりません。ビジネスマンとして長くゴリゴリやっていた私にはとても難しい事業の開始時期があったと懐かしく思います。そんなこんなではあったものの、今日までに、色々多岐にわたる事業を展開させて頂きました。感謝申し上げます。又、この飛騨高山が発祥となり、全国に10ヶ所のまちスポを設立する事が出来ました。これが最もまちスポ飛騨高山の大いなる実績だと思います。



認定NPO法人まちづくりスポット 代表理事
大和リース株式会社 取締役常務執行役員 営業本部長

森内 潤一

2020年、年初より、コロナ禍の影響により、活動も大幅に制限されてきました。その中であって、気づかされたのはやはりコミュニケーションが人々の暮らしの中で如何に大切かを再認識させられました。そして、色々な社会の課題も浮き彫りになったと思います。

私達、まちスポ飛騨高山は今ではこの地区の無くてはならない存在になりつつあります。これから先も地域の人々と協働し合い、より良い街づくりに貢献して行こうと考えております。どうかよろしくお付き合いの程、お願い申し上げます。



すみれ会主宰
立山黒部ジオパークガイド

おおの ひろみ
大野 博美さん

自然への思いを次世代へ

昨年度は「とやま市元気プログラム」の講師として活躍。今年度は自ら主宰するすみれ会の企画として「とやま散歩」を開催し、富山城や松川、いたち川周辺を案内しました。そんな大野さんに活動のきっかけなどについてうかがいました。

活動のきっかけ

「みなさん、この桜の葉っぱの色、見えませんか」。昨年秋の「とやま散歩」。季節が移ろう松川べりを歩きながらわかりやすくあたたかい語りでオンライン上の参加者にも声をかけていた大野さん。富山県自然解説員（ナチュラリスト）のほか、富山県野鳥観察指導員（バードマスター）、ジオガイド、立山カルデラ解説員、とやまさくら守、ガールスカウトリーダー…誌面では紹介しきれないほどさまざまな顔を持っています。平成2年、当時幼稚園教諭として働いていた頃、富山県自然解説員に認定されたのが活動のきっかけに。その後、「とやま環境財団」で20年以上勤務し、「立山黒部ジオパーク協会」の立ち上げにも関わってきました。「私が活動をはじめた頃から生涯学習という言葉が叫ばれるようになりました。博物館などが整備され、出かけて学べる場所も増えていきました。いい時代に生きてきたなと思っています」

自然と向き合うこと

大野さんのすべての活動の中核にあるのは「自然界」。すべてが自然につながっています。平成29年からは「すみれ会」を主宰。自然とふれあう機会を増やしてもらいたいと、観察会や探鳥会、森林教室、里山保全などさまざまな活動を行っています。

個人では、富山県内各地のふるさとの自然、立山や称名滝をフィールドにしたガイド、小学生を対象とした立山室堂の案内と年間を通じて活躍。「それを次の代にわたしていく



のが今の自分の役目だと思っています」。全国で初めて富山県が認定を始めたという富山県自然解説員の養成講座では講師もつとめ、「自然の声を伝えたり、そこから感じた思いを引き出すことが一番大事」だと話しています。「自然を大切にすることは、近年の『SDGs』への具体的な取り組みにも繋がります。それが生活に活かされていけば、とても素敵なこと。忙しい生活の中でも自然との出会いにときめいたり、ドキッとしたり。自然にふれるほど今私がどう生きればよいかを教えてもらっている気がします。私にとって木々や草花の名前を知ることは自然へのご挨拶のようなものなんです」

時には参加者として

昨年、とやま市元気プログラムの一環で開催された「ブラとやま」では、ジオガイドとして参加者を案内したほか、時には参加者として街を歩きました。「皆さんと一緒にまちなかを歩かせてもらって本当に楽しかった。まだまだ見過ごしている不思議なものが自然の中にはある。その仕組みを知るたびに感謝したり、大切にしたいという心を育ててもらっているのだと感じます」。常に新鮮な気持ちで自然と向きあう大野さんの姿勢が、さまざまな活動を通じて次世代へと受け継がれようとしています。

ご連絡はこちらまで

▼まちスポ飛騨高山
〒506-0025 岐阜県高山市天満町1-5-8(フレスポ飛騨高山内)
TEL: 0577-62-8550 FAX: 0577-62-8580
E-mail: info@machispo.org HP: http://machispo.org

▼まちスポとやま
〒930-0083 富山県富山市総曲輪4丁目4-3(総曲輪レガートスクエア内)
TEL: 076-461-3332 FAX: 076-461-3359
E-mail: toyama@machispo.org HP: http://machispo.org

官民連携事業
まちなかサロンの冬休み

まちスポとやま

門松を作ろう

開催日: 2021年12月25日(土)
①10:00~12:00、②13:00~15:00
参加者: 16組(小学生・幼児23名、保護者18名)
協力: NPO法人Bamboo saves the earth

小学生親子を対象に地域の人と冬の風物詩を体験してもらおうと開催。毎年恒例の門松作りには、定員の3倍以上の応募があり、人気の企画です。参加した親子は、竹の話を熱心に聞いたり、施設への質問をしたりするなど、講師やスタッフと交流しながら作業を進めていました。親子は、出来上がった立派な門松を満足そうに抱え「玄関に飾ろうね」と話していました。また、サポーターとして学生ボランティアが参加。中にはタイ出身の留学生も。初めての作業に戸惑いながらも、自発的にサポートする姿が見られました。



みんなで

書き初めしよう

開催日: 2022年1月6日(木)
①10:00~12:00、②13:00~15:00
参加者: 22組(小学生26名、保護者21名)
協力: 高瀬蘭子先生・土肥栄扇先生
富山中部高校

富山市内在住の書道師範や書道を学ぶ高校生がボランティア講師として指導を担当。書き初めに取り組む小学生に「太く書くこと。名前も大事」などと話し、アドバイスしていました。保護者からは「家とは違うのびのびとした環境で思う存分練習ができ、とても助かる」という声があったほか、「学校や家庭とも違う環境の中でやる気が出て頑張れた」とテレビのインタビューに答えている小学生も。まだまだコロナ禍で家族や同じ学校に通う仲間としか交流できない日々の中、刺激を受けながら作品を仕上げているようでした。

